

高野神社本殿



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	たかのじんじゃほんでん
所在地	津山市二宮
指定年月日	昭和58年4月8日
解説	<p>高野神社は美作の二宮とされ、現在の社殿は、江戸時代前期の寛文3年(1663)に2代津山藩主森長継によって再建された。応保2年(1162)銘の木造隨身立像2躯、鎌倉時代末期とされる木造獅子1対が国指定重要文化財となっている。本殿は、梁間3間、桁行4間の単層入母屋造、銅板葺(もと檜皮葺)で、妻入りの正面に1間の唐破風向拝を付けた、いわゆる中山造である。美作では中山神社に次ぐ大型の本殿であり、装飾が少なく、木柄の大きい重厚な建築物に仕上げられている。</p>
アクセス方法	JR院庄駅から徒歩約10分
公開状況	外観のみ
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	